

# くくみ

広報

NO.422

平成20年8月  
2008.

# 8



## 心をひとつに

8月10日、県北中学校吹奏楽部の第8回定期演奏会が、観月台文化センターで開催されました。この日のために夏休み返上で練習してきた全11曲を元気いっぱい演奏しました。

会場には、多くの人が詰めかけ、生徒たちの見事な演奏に盛んな拍手を贈っていました。

## ◆今月のおもな内容◆

【特集】小学校の統廃合に向けて……………	2
農業委員会 新体制で始動……………	8
ふるさと納税制度がスタート……………	9
今年も始動！義経まつり……………	10
まちのわだい……………	16
保健だより……………	18
くらしの情報……………	19
生涯学習つうしん……………	22

# 特集① ~より良い教育環境を目指して~

# 『小学校の統廃合に向けて』

町教育委員会では、平成17年度から、安心、安全な施設で、質の高い教育を推進するために「将来の町の小学校のあり方」を検討してきました。6月に各地区で開催された「地区教育懇談会」において、教育委員会の考えが示されました。その内容について、お知らせいたします。次ページ以降では、地区教育懇談会で出された、主な質問や意見等についてお知らせします。

## 町の小学校の主たる課題

### 課題1 児童数・学級数について

児童数は、減少の一途をたどり、平成20年度の児童数は546人で、これを昭和60年度の1,209人と比較すると45.2%で半分を下回る数であります。しかも、既に大木戸小学校、小坂小学校では複式学級編制を余儀なくされています。今後もこの傾向は続く見込みで、特に小坂小学校では顕著であり、近い将来完全複式学級編制となる見込みです。また、超小規模化に伴い教職員の配置にも問題が出てきています。

### 年度ごとの複式学級の推移 (抜粋) ※ (括弧内数字は児童数)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
小坂小	2・3年 (7・9)	3・4年 (7・9)	4・5 (7・9)	2・3年 (8・8) 5・6年 (7・9)	1・2年 (2・6) 3・4年 (8・8)	2・3年 (2・6) 4・5年 (8・8)	3・4年 (2・6) 5・6年 (8・8)
森江野小	—	—	—	—	—	—	2・3年 (4・12)
大木戸小	3・4年 (8・5)	4・5年 (8・5)	5・6年 (8・5)	2・3年 (9・7)	3・4年 (9・7)	2・3年 (5・7) 4・5年 (9・7)	3・4年 (5・7) 5・6年 (9・7)
大枝小 (国見分のみ) 【】内全校生	—	—	—	2・3年 (2・5)	3・4年 (2・5)	3・4年 (6・2)	3・4年 (6・6) 5・6年 (2・5) 【9・7】 【5・10】

このような問題への検討してきた内容

### このまま進むと

※複式学級とは、2つの学年の児童が一つの教室で学習や生活を共にし、担任は1人で指導にあたること。2つの学年の児童が、16人以下の場合や1学年を含む場合は、8人以下の場合に複式学級になります。

少人数教育には、児童一人ひとりに教職員の目が届きやすい、教職員が児童を理解しやすいなどの利点がある反面、次のような問題点が指摘されます。

- |  |  |   |
|--|--|---|
| 1. 人間関係が限られてくるため、多様な社会性や自立心などを身につけることが困難になる。         | 3. 体育でのゲームや球技、音楽での合奏など、学習そのものが成立しない場合がある。                                | 複数の学級があれば、児童の指導について、相談したり教科内容の研究もより深めることができる。 |
| 2. 学校・学級などの集団において、児童の間に競争意欲に欠ける面が見られ馴れ合いの活動に陥りがちになる。 | 4. 学級数が減少すれば、当然教員数も減ることになる。一人の教員が担任しながら、他の重要な仕事も分担することになるので、負担も大きくなる。一方、 | 5. 少人数のために、指導者の充実の面で不利な条件となる。                 |

### 課題2 施設・設備について

校舎は、建築後30年、体育館にあっては50年を越えるものがある。厳しい町財政の中で、校舎・体育館の経年劣化に対応した改築や耐震補強等、計画的な教育環境の整備が求められている。

(改築年度)  
校舎：大木戸小 53年度 小坂小 56年度 藤田小 56年度 (耐震補強工事済)  
体育館：大木戸小 31年度 小坂小 31年度 藤田小 36年度  
大枝小 29年度



## 検討内容

### 検討1 国見町が目指す教育について

- ①「育て、つなぎ、伸ばす国見の教育」の推進
- ②社会の急激な変化の中で求められる資質(生きる力)
  - ・コミュニケーション能力
  - ・集団の中で切磋琢磨して力が発揮できる能力

### 検討2 教育的(指導的)な面について

- ①教科学習面から
  - 概ね適正人数であることが望ましい
  - ・思考の幅を広げる多様な考え
  - ・適度の競争心と切磋琢磨
  - ・成立しない学習内容
 少人数でもきめ細かな指導ができる良さはありますが、少なくとも複式学級による授業は解消しなければならないと考えます。
- ②特別活動等の集団活動の面から
  - 超少人数では
  - ・人間関係の固定化
  - ・男女の数の極端な偏り
  - ・集団訓練の場や団体競技への参加の確保が困難
 少人数では個別に目が行き届き、よりきめ細かい指導ができる良い点はあるが、集団として成立、機能し、さらに人間関係の中で多くの個性と交わり、学び合うためにはある程度の人数は必要になる。
- ③学校運営や教員配置の充実の面から
  - 教員数の減少による支障
  - 教員配置の上で不利な条件

### 検討3 施設・設備について

- ①校舎・体育館
  - 安全な教育環境の計画的な整備が必要
- ②修理・修繕
  - 各施設・設備の修繕費の負担増

### 検討4 保護者・地域の考えについて

- ①アンケートから
  - 17年度のアンケート調査
  - ・複式学級編制等への不安
  - 18年度には、小坂、大木戸、大枝地区で実施
  - ・教育環境を整えてもらいたい
  - ・適正規模で学ばせたい ・統廃合を進めるべき
  - ・組織を作って、計画的に検討する必要がある
- ②保護者懇談会・地区教育懇談会から
  - 19年度6月に保護者懇談会、9月に地区教育懇談会を開催
  - ・ともに参加者が少数、方向性について意見のまとめまでいかなかったが、「複式学級を解消してほしい、集団活動が機能する適正人数で学ばせたい、教員配置を充実させてほしい」等、切実な意見も出された。
- ③有識者から
  - ・子どもの教育を最優先に考えるべき
  - ・もっと急いで進めるべき問題
- ④状況の変化
  - ・小坂小学校
  - 20年度新入学生なし 2、3年生で複式学級



## 検討しての結論

これからの国見町で学ぶ小学生のために、様々な教育課題を解決し、より良い教育環境を整備するために、町の小学校の統廃合を計画的に進める必要がある。

## 今後の進め方

1. 基本方針
  - 学校の統廃合は慎重な態度で実施すべきものであって、保護者・地域の考え、要望、心情を十分に尊重しながら進めます。
  - 統廃合を進めるに当たっては、教育的、社会的、財政的、その他の見地から十分に検討を加えます。
  - 児童数の減少や施設の老朽化の状況を十分に考慮して、計画的に進めます。
  - 地域の実情に即して、弾力的に進めます。
2. 統廃合の推進計画の概略について(予定)
  - 秋には、「町の小学校統廃合検討委員会」(仮称)を設立します。
  - 「町の現状からどのような統合が望ましいのか」等、重要事項を諮問します。
  - 1年を目途に答申をいただき、それをもとに、小学校統廃合計画を作成します。
  - 統廃合計画については、説明会を実施し、皆さんの同意のもとに統合準備にかかります。

教育委員会の考え

# ～ 特集② 『小学校の統廃合に向けて』～ 町の教育への思いを たくさん語っていただきました！

6月3日から6月17日にかけて、町内5地区において「地区教育懇談会」が開催され、教育委員会の考え及び推進計画などについて、皆様からご意見をいただきました。今後、教育委員会では、皆様からいただいた意見を踏まえ、より良い教育環境を目指して統廃合に向けた推進計画をまとめていきます。地区教育懇談会の主な内容をお知らせします。



## 小坂地区 6月3日開催

Q、小坂地区の住民として、地域の中心である、よりどころである小学校が統廃合されることについては残念であるが、致し方ないものとする。

A、小学校がなくなったら、地域はどうなるのであろうか。今夜のような懇談会を開きながら、納得できるような計画にしていきたい。

Q、検討委員会を立ち上げ、諮問する予定です。

A、十分に検討をいただき、皆さんに納得いただける計画を作成し、懇談会・説明会を開きたいと思っております。

Q、現在の小学校校舎の耐震強度はどのくらいか。

A、耐震診断の対象になるのは、昭和56年度以前の建

物で、小坂・大木戸も同程度の強度かと思われませんが、診断は未実施です。藤田小学校は、昨年夏に耐震補強工事済みです。

Q、今年はどうして1箇所しか耐震診断をやらないのか。

A、統廃合を進めていく中で、改築などができるのかという財政的な問題が出てくる。そのような事も含め統廃合を検討していきたいと考えております。



があります。そのために検討委員会を立ち上げたいと考えております。

## 藤田地区 6月5日開催

Q、統合については、検討委員会での答申がなければ、具体的な計画は出ないということか。その場合、作成後の説明会で、地域の考えを議論する余地はあるか。

A、地域の皆さんのご意見を充分検討していく必要があり、全て受け入れられないかもしれないが、大事にしていくという姿勢で進めたいと思います。

Q、検討委員会がないと、統廃合ができないのか。教育委員会の予定では、検討委員会設立からのくらしいで統廃合できるのか。

A、教育委員会のみで議論するには限りがあり、社会的・財政的な面など様々な見地から検討を重ねる必要



Q、このまま統合するとすれば、何年後なのか。

A、施設も古くなるので、できるだけ早く進めていきたいと思っております。地区・保護者の皆さんの考え、思いをお聴きし進めていきます。推移表は26年度まで記載していますが、そのあたりまでには結論を導きたいと考えております。

(ご意見) どんな事業にもメリット・デメリットが存在するが、この統廃合という問題に関しては、圧倒的にメリットが多いため、教育委員会でこのような方向に進んでいくと判断されたと推察する。

P T A の立場から、友達は多いほうがいいと思う。



## 森江野地区 6月10日開催

Q、低学年の子ども・孫を持つ方は関心が高いが、いない家庭では関心が薄いようだ。児童数減少も知らないでいる。内容を充分周知してほしい。

A、「広報くみにみ」などに掲載をして内容をお知らせしていきます。また、保護者の集まりなどでも周知していきたいと考えております。

Q、概ね適正な人数とあるが、適正と思われるのは何人か。

A、教科によっても違いがあります。算数・数学では10人以上、国語などは20〜30人が適正と考えられています。また、体育・音楽でも適正人数は、20〜30人と考えております。

Q、統廃合を視野に入れるのは、心情的には難しい問題だと思ふ。今ある校舎を利用する中で進めるのか、それとも新築するのか。

将来は、小・中学校をも合わせた取り組みとしていく考えはあるか。

A、統合の方法・形態については、検討委員会へ諮問する項目の第1番目となるべき問題だと考えます。また、現有施設の有効利用についても、議論になると思われます。

Q、複式学級は、よくないというイメージがある。学力的には、複式学級の児童は落ちているのか。

A、昨年、県北教育事務所に超少人数の子どもと適正規模の子どもに、何か差があるか、データなどがあるのか伺ってみました。

県では、「調査したことはない。顕著な差が出たことも聞いていない。」ということでした。また、昨年度の中学校長にも同じ事を伺ってみました。が、「臆することなく活躍している。」と聞いています。現在は、複式学級は解消しており、複式補正講師の配当を受け、大木戸も小坂も授業を行っております。

（ご意見） 統廃合は避けて通れないことと思っ  
て。森江野も少人数にな  
ることは間違いないこと  
どこの自治体でも抱えてい  
る大変難しい問題であるこ  
とは確かだが、毅然として  
速やかに前に進めて欲しい。

（ご意見） 個人的には1  
校でいいと思う。大勢で切  
磋琢磨したほうが、後々プ  
ラスになると思う。

（ご意見） 昔、確かに、こ  
のような問題で盛り上がっ  
たことがある。当時保護者  
として議論し、2校制で進  
めてきたが、学校がなくな  
ると過疎化するので反対だ  
という意見があり、改築が  
進んできた。

児童が安心して学べる学  
校にして欲しい。大人の感  
覚や経済的な感覚でなく、  
子どもを中心にした考えを  
尊重して欲しい。そんな義  
務教育にして欲しい。

Q、推進計画の概要につい  
てだが、検討委員会のメン  
バーはどういう方々か、諮  
問とは、答申とは、進め方  
がよくわからない。  
A、検討委員会には、小学  
校の児童数の推移や校舎等  
の状況を説明し、これから  
の小学校の適正配置につい  
て、さまざまな見地から検  
討していただこうと思っ  
ております。その提言（答申）  
を受けて、統廃合計画を作  
成することになります。メ  
ンバーについては、学校関  
係者、PTA、地域の代表、  
学識経験者などになると思  
われます。

Q、学校のあり方検討委員  
会が設置され議論が進むと、  
いろんな方向性が出てくる  
と思うが、統廃合に対する  
タイミングや気持ちのずれ  
が出てくると思う。その場  
合、同一ラインに立たない  
と進めないのか。  
A、それは充分考えられま  
す。例えば、大枝も含め全  
部一緒とか、小坂だけ先  
に、大木戸を先にとか、い  
ろいろな考えが出てくる



大木戸 地区  
6月12日開催

Q、今回の考えは、小坂小  
学校の児童数が急激に減少  
したことが引き金になって  
いると思うが、大木戸の方  
では複式を抱えていたこと  
もあり、「何を今さら・・  
・」という思いがある。町  
としての方針を早くから示  
すべきではなかったか。  
A、そういった姿勢になっ  
たのは確かでありませぬ。教

思います。よりよい方向性  
を求めて、弾力的に進めた  
いと考えております。

Q、耐震診断は小坂・大木  
戸ともやっていないのか。  
A、小坂・大木戸では、ま  
だ耐震診断を行っていま  
せん。小坂地区でも指摘を  
受けました。統廃合を進め  
ながら解決を図る考えであ  
りますが、その間の安全をど  
うするのかという問題があ  
ります。小坂・大木戸でも  
耐震診断を行いたいと思  
っています。



育的な面からは、統合のメ  
リットは大きいと考えま  
すが、地域が見守ってきた学  
校は、大きな役割を担っ  
てきたのも事実です。状況  
をお知らせしながら、その機  
運を高めながら着実に進め  
てきたつもりです。

Q、推進計画の概要の説明  
があったが、おおよそ何年  
の計画なのか。  
A、秋に検討委員会を立ち  
上げ、諮問事項を決定し諮  
問から答申まで1年くらい  
と考えています。充分検討  
するにはそのくらいの期間  
が必要であり、答申をもと  
に統廃合計画を作成し、平  
成22年早々に説明できるこ  
とになると思います。地域  
の皆さんのご意見を、充分  
にお聴きしながら進めてい  
く考えです。

Q、統廃合は、一気に藤田  
小に集めるのか、森江野・  
藤田に分散するのか。  
A、はつきりは述べられま  
せん。いろんな場合を想定  
して、校舎の収容人数も含  
め検討はしています。これ

は諮問の第1番目の項目と  
なるべき重要な内容となり  
ます。

Q、統合まで何年かかるか  
わからないが、現に複式の  
保護者であるからこそ、出  
席した。目標年次が明らか  
にされていないと、懇談会  
への臨み方も変わってくる  
どのようにまとめていくつ  
もりなのか。  
A、昨年にも、「もっと早く  
進めて」と言う意見をいた  
だいています。しかし、今  
の時点では、先の読めない  
作業があることも事実です。  
22年には、統廃合計画に  
ついて、説明会を開催する  
などとして、皆さんのご理  
解を得ながら着実に進めて  
いく考えです。なお、現在は  
複式学級で学ぶことのない  
ように、町単独でも講師を  
配置しています。これは、  
できる限り続けたいと思  
っております。

Q、統廃合する場合は、大  
枝だけ残さず一緒にして欲  
しい。  
A、大枝は組合立であると  
いうことを十分に配慮した  
上で進めることが大事であ  
り、伊達市との協議も必要  
となります。西大枝だけが  
こちらに来てしまえば、極  
小規模校になってしまふこ  
とも考えなければならませ  
ん。「大枝小があるから団結  
していられる。」という意見  
もあります。

Q、この計画の概要は、国  
見が自立していく場合の進  
め方なのか？伊達市に合併  
することは想定していない  
のか。  
A、この計画は、あくまで  
も、これからの国見町で学  
ぶ小学生のことを考えての  
取り組みだと思っております。



Q、複式補正講師は、「来年  
は難しい」と聞いていた。  
しかし現に今年補正講師が  
来てくれた。今後も講師が  
いてくれるものと思っ  
ていいか。  
A、財政的なこともあるの  
で、この場で「大丈夫です。」  
と言いつけることは難しい。  
また、複式学級が増えれば  
町財政の持ち出しも大き  
くなるので、尚更難しくな  
りますが、学ぶ子どもたちに  
ハンデが生じないように努  
力します。



でも発言してきた。統合は  
してもしなくても、メリッ  
ト・デメリットは存在する  
と思う。しかし、統合しな  
いデメリットのほうが大き  
いと思う。複式になって子  
どもに与える心理的状況と  
学年間の差も大きいと思う。  
先生の指導についても気  
になっている。これから児  
童数が増えることはない  
とすれば、統廃合は止むを得  
ない。

組合立であり、歴史の中  
の不幸な産物である。統廃  
合の方向付けは正しい判断  
だと思う。

Q、この計画は、あくまで  
も、これからの国見町で学  
ぶ小学生のことを考えての  
取り組みだと思っております。

地区教育懇談会出席人数

地区名	人数
小坂	39人
藤田	36人
森江野	48人
大木戸	30人
大枝	27人
計	180人

— お詫び —

広報くにも平成19年11月号（No.413）に掲載しました「学校のあり方を考える」の記事について、昨年開催されました地区教育懇談会で出された意見と一部反する内容を掲載してしまいましたことについて、お詫びいたします。

実際に、複式学級に子どもを在籍されている保護者の皆様からは、「複式学級の解消、適正人数で学ばせたい、教員配置の充実」等々、切実な意見が出されました。

お問い合わせ  
教育委員会学校教育課  
☎585-2892

# 農業委員会新体制で始動

## 会長に朽木勝之さん

国見町農業委員会は、7月24日農業委員会総会を開き、会長に朽木勝之さん、会長職務代理者に村上正勝さんを指名推選で互選しました。

今回の改選により国見町農業委員会は、一般選挙により選出された10人（7月号掲載済み）と町長が選任する委員3人（伊達みらい農協・県北農業共済・町議会から1人ずつ推薦）の13人で今期の活動を開始しました。

率の向上、農地の集積、耕作放棄地の解消など、差し迫った諸問題にも対処するため、今後3年間、重責を担います。

互選された朽木会長は、「町の基幹産業である農業振興とそれを支える農業者のために、皆と一緒に、一所懸命、任務に務めたい。」とあいさつ。

朽木会長、村上前会長職務代理者の体制は、前期に引き続き2期目。20人から13人へと自ら委員数を減じた農業委員会。農地の貸し借りや売買の審査・許可、町の農業施策への建議・答申などの業務と併せ、自給



村上正勝  
会長職務代理者



朽木勝之会長

### 新農業委員

(敬称略 議席順)

朽木 勝之	7期公選
佐久間 利信	1期公選
村上 正勝	4期公選
菊地 顯一	2期公選
佐久間 敏雄	2期公選
玉手 忠七	2期公選
松浦 新一	2期公選
八島 義信	1期公選
黒田 武	2期共済推薦
黒田 勝夫	4期公選
八島 富一	1期農協推薦
高橋 豊壽	3期議会推薦
松浦 万助	2期公選

## 『ふるさと納税』で国見町を応援してください

### ふるさと納税制度がスタートしました

われわれの故郷・国見町をよくするために、町外在住のご親戚、友人、お知り合いへぜひお声かけしていただき、『ふるさと納税』にご協力をお願いします。

#### 『ふるさと納税制度』とは

自治体に寄附をしていたら、寄付金のうち5000円を超える部分について、一定の限度まで所得税と合わせて住民税が控除される制度です。

『ふるさと』とは、出身地に限定されるものではなく、皆様が自由に選ぶことができます。以前に住んでいた町や訪れて印象的だった町など、「応援したい町」を選び寄附することができます。また、都道府県に寄附することもできます。

#### 寄附をお寄せいただく方法

①「寄附申出書」を提出してください。  
寄附申出書をホームページ

よりダウンロードしていただくか、電話、ファクスなどにより、総務課財政係までご連絡をいただければ寄附申出書を郵送させていただきます。

②寄附金の納入をお願いします。寄附金の納入には、「郵便振替」、「納付書払い」、「現金書留払い」、「窓口への現金払い」の4つの方法があります。詳しくは、ホームページをご覧ください。総務課財政係（☎024-585-2114）までご連絡をお願いします。

③領収書を発行します。寄附金の納入を町が確認しました後、寄附された方へ領収書を発行します。この領収書によって、税の控除を受けることができますので、確定申告時まで、

大切に保管してください。

#### 寄附金の使い道

皆様からいただいた寄附金は、「国見町ふるさと振興基金」に積み立て、国見町の振興、地域活性化に向けた施策の推進等に活用させていただきます。

#### 寄附された方は

地方税法の改正によりまして税額控除を受けることができるようになります。具体的には、地方公共団体（都道府県・市町村）への寄附のうち、5000円を超える部分の金額について一定の額が、翌年度に課税される個人住民税の税額から控除を受けることができます。

### 委員の担当地区

農業委員が担当する地区です。農地の相談は、地区の農業委員又は農業委員会へお問い合わせください。

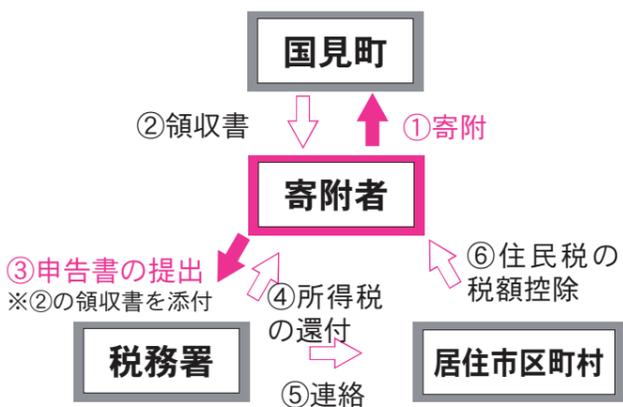
佐久間 利信	駅前、錦町、大町南、大町北、本町、宮町南、藤田光陽、宮町北、藤田宮前、町東、宮東、鶉町
菊地 顯一	上野、石母田東、石母田表、石母田北、石母田原、石母田西
八島 富一	山崎北、滝山、小林、山崎館、山崎小館、山崎宮館、山崎沢田宮前、源宗山東、源宗山西、源宗山北、大坂、山崎耕谷
高橋 豊壽	小坂、鳥取
朽木 勝之	太田川、前田、板橋、板橋南、内谷西
黒田 勝夫	泉田上、泉田中
黒田 武	泉田下、内谷東
佐久間 敏雄	第1、第2、第3、第4
村上 正勝	徳江北、第7、第8、第9、第10、第11、第12
松浦 万助	貝田、光明寺
八島 義信	高城
松浦 新一	大木戸、山根
玉手 忠七	原町、築館、並柳、中部、北部、川内

### 退任委員へ感謝状

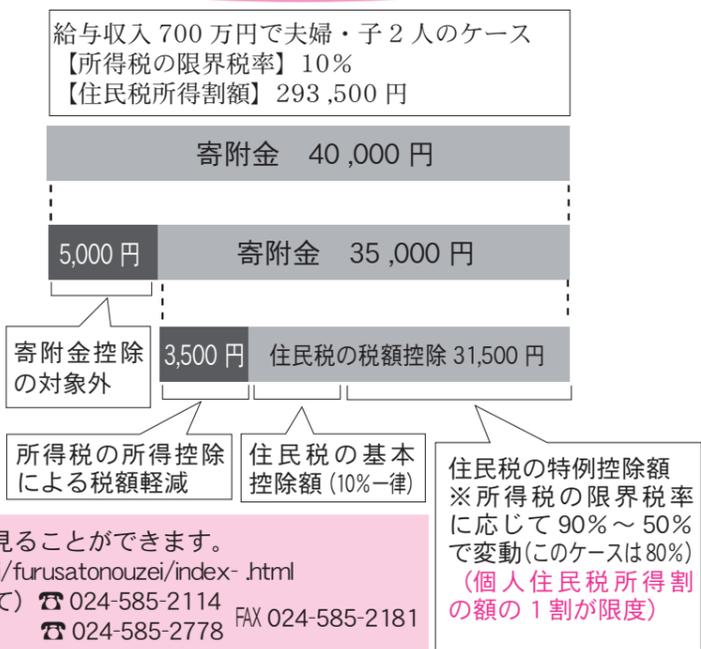
総会に先立ち、任期満了等で退任された10名の委員の退任式が行われました。新委員が見守る中、町長が一人ひとりに感謝状を手渡し、これまでの献身的な活動をねぎらいました。

退任委員（敬称略）  
村上 義敬  
佐藤 直子  
佐藤 重子  
高橋 八千代  
吉田 良夫  
八島 進一

### ふるさと納税のながれ



### 寄附金控除の計算イメージ



詳細については、町ホームページ「ふるさと納税」で見ることができます。  
http://www.town.kunimi.fukushima.jp/gyousei/furusatonouzei/index.html  
問い合わせ 総務課財政係（寄附金の納付等について）☎024-585-2114 FAX024-585-2181  
税務課課税係（寄附金の控除について）☎024-585-2778

くにみの日  
9月23日

今年も始動!

# 義経まつり

6月16日開催の「国見町まちづくり推進協議会(山田秋男会長)」において、本年もまちづくり事業として義経まつりを支援していくことが確認されました。7月23日には、町内各団体などを代表する約1000名の方達によって実行委員会が組織され、東海林一樹町商工会長を実行委員長に選出したほか、これまでと同様9月23日に義経まつりを行うこと、武者行列部会、イベント部会など7つの部会により運営すること、広く協賛金をお願いとなどが決定されました。これにより、第13回義経まつりの成功への功へ向け、ターゲットを切りました。



▶昨年の相馬野馬追神旗争奪戦(藤田小にて)

協賛金ご協力をお願い  
町民みんなの手作りのイベントとするため、昨年同様広く町民皆様の参加と運営資金のご協賛をお願いすることといたしました。何卒趣旨ご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

『義経まつり』事業費(概算)650万円  
財源内訳・まちづくり推進協議会助成金(町補助金)400万円  
・町内各世帯 150万円  
・町内各事業所 50万円  
・商工会、JA伊達みらい 30万円  
・その他収入 20万円  
目標 各世帯1口500円、1口以上  
各事業所1口5,000円、1口以上



成功に向けて組織された実行委員会

## 義経まつり武者行列 源義経・源頼朝・静御前など大募集

実行委員会では、義経まつり武者行列に出演していただける方を募集します。ふるってご応募下さい。

- ▼募集人員
- 武将役 10名(騎馬)
- 弁慶役 1名
- 姫役 3名
- 女武者 6名
- 護衛武者 6名
- ▼応募資格
- ・当日、正午から夕方まで参加できる方



・源義経役・源頼朝役には、若い方をお願いしたいと考えていますので、積極的な応募をお待ちしています。

▼選考方法:選考及び配役は実行委員会で行い、結果は当選者へ通知いたします。

▼応募方法  
ご希望の方は、ハガキかEメールにて住所、氏名、年齢、電話番号を記載の上、義経まつり実行委員会事務局(国見町企画情報課)までご応募下さい。

▼募集期間:9月5日(金)必着

◆問い合わせ・応募先  
義経まつり実行委員会事務局(国見町企画情報課内)  
☎969-1792  
伊達郡国見町大字藤田字一丁田二-1  
☎024-585-2927  
FAX 024-585-2181  
✉kikaku@town.kumimi.fukushima.jp

## なくそう、交通事故。

# 夏の交通安全運動

7月16日から25日の10日間「夏の交通安全防止県民総ぐるみ運動」が行なわれ、夏休み前の小中学生への街頭指導を始め、様々な事業が展開されました。

みやぎ・ふくしま  
県境キャンペーン

7月24日、宮城県白石地区と国見・桑折地区の合同で交通事故防止キャンペーンを実施しました。県を越えての取り組みは今回で7回目、今年は白石市斎川のパーキングで行われました。



このキャンペーンには、佐藤町長、林王桑折町長、風間白石市長、桑折・白石両警察署長、管内の交通安全団体関係者約150名が参加して行われました。参加者は、通行車両1台1台のドライバリーに、事故防止広報誌、地域特産「桃」と「うーめん」を配りながら安全運動を

▶特産品の「桃」を手渡して安全運転を呼びかけるミスピーチ。関根桑折警察署長(左)

呼びかけました。国見・桑折地区からミスピーチ2人と、白石地区からは甲冑工房片倉塾の甲冑武者が参加し、キャンペーンに花を添えました。

## 高齢者への街頭啓発活動

7月18日、藤田病院で交際対策協議会及び桑折警察署共催による街頭活動を行いました。来院者にチラシなどを配布し、高齢者の事故防止を呼びかけました。



▶高齢者の事故防止を呼びかける安全協会の皆さん

## お気軽にお越しください

# 敬老会

本年度の敬老会は、9月15日に町内5地区で開催されます。それぞれの地区の特性を活かし、身近な地域の方々のご協力により行われますので、お気軽にお越し下さい。

75歳以上の千六百二十四名の方へご案内されます。なお、開催日程は次のとおりです。  
お問い合わせ 保健福祉課長寿介護係  
☎585-2152



地区	開催日	時間	場所	対象者数
藤田	9月15日 (敬老の日)	午前10時	観月台文化センターホール	705人
小坂		午前9時30分	小坂小学校体育館	227人
森江野		午前10時	森江野町民センター体育館	311人
大木戸		午前9時30分	大木戸小学校体育館	246人
大枝		午前10時	国見東部高齢者等活性化センター体育館	135人

(対象者は、7月30日現在)

どうぞよろしく！

# アレクサンダー・ウィットターズです



新しい英語指導助手が、このほど着任し、佐藤町長から辞令が手渡されました。新しい先生は、「アレクサンダー・ウィットターズ」先生（「アレックス先生」と呼んでください。）で、出身地はイギリス（スコットランド）・パース市です。年齢は22歳です。「スコットランドは、この時期はまだ寒いですが、とても気候の良いときに日本に来ることができてうれしいです。私は、まだ教師の経験はありませんが、初めての経験でわくわくした気持ちでいっぱいです。これから1年間、皆さんと一緒に話したり、仕事ができることを楽しみにしています。」

ありがとうございます

# キース・ブラウン先生

国見町の英語指導助手のキース・ブラウン先生は、8月5日で退職されました。ブラウン先生は、昨年8月から1年間、県北中学校で英語の指導を行い、また、各小学校では英語を通じて、国際理解に努めました。



ブラウン先生からのメッセージ  
 去年8月から国見町で過ごしましたが、とうとう自国へ戻る時がやってきました。国見町の小中学校で、英語を教えられたことは、一生忘れられない思い出です。また、日本各地を訪れ、北は北海道、南は沖縄まで旅行をし、日本の文化を肌で感じる事ができました。しかし、最も素晴らしいと感じた場所は福島県です。四季の美しい国見町、安達太良でのスノーボード、ハイキング、夏は猪苗代でのバーベキューなど、充実した一年間を送ることができました。いつかまた、この国に来たいと思います。今まで本当にありがとうございました。

# 深まる友情

## 小坂小と静岡・西気賀小

小坂小学校の5年生10人は、7月4日から1泊2日で静岡県浜松市、浜名湖畔にある西気賀小学校を訪れました。両校の交流は21年前より始まり、児童の交流は13年前から行われています。今回もPTA本部役員や保護者、教職員の代表が加わり、総勢18名での訪問となりました。

両校5年生は、1年生のときから学級紹介、文通などで交流を進めてきました。直接会っての交流はこれが初めてとなります。西気賀小に到着した小坂小児童たちは、全校生による潮風集会（歓迎セレモニー）で温かく迎えられ、紹介ゲームなどで楽しみ、交流を進めました。

夜は両校の5年生児童が一緒に宿泊、友との語らいは夜遅くまで続きました。翌日は、和船やカヌーを体験、湖畔ならではの楽しみを満喫しました。この交流により、双方の友情がさらに深まり、楽しい思い出となりました。冬には西気賀小の5年生児童が小坂小にやってきて、雪の上での交流が行われる予定です。



## 友情を深め合った夏の西気賀交流

小坂小学校 5年 黒田雄大

7月4～5日の1泊2日で西気賀交流に行ってきました。最初の潮風集会では、ほくたちの小坂小の校歌で歓迎してくれました。次にたてわり班で、歓迎リレーを行いました。ほくは、一位になれるかなあと心配していたけど、ほくの班は、みんなの心を一つにして一位になることができたので、うれしかったです。

二日目は、カヌー、ボート、和船をやりました。一番難しかったのは和船です。みんなと息を合わせないと、なかなか進みません。それで、かけ声を合わせていいたら、進むようになったので、うれしかったです。一番に残ったことは、浮き輪ボートです。時速20キロと聞いてたけれど、ほくには80キロくらい出ているように感じました。大きな波が来て一しゅんにして水に囲まれて前が見えなくなってジャンプしたところがこわかったけど、スリルがあって楽しかったです。

最後に、お別れの会をしました。二日間ちょうど一番よくなったところで別れるのはさびしかったです。バスで帰るとき、見えなくなるまで温かい見送りをしてくれたことに感じやしたいです。冬の交流が楽しみです。

# 自己記録を更新！

## — 国見町小学校スポーツ交歓会（水泳） —

平成20年度国見町小学校スポーツ交歓会（水泳）が、7月25日森江野町民プールにおいて開催されました。町内の小学6年生82名が参加し、元気に水しぶきをあげ熱戦を繰り広げました。また、秋には、陸上の競技会が開催されます。



男子			
種目	第1位	第2位	第3位
100m自由形	東海林 篤(藤田2)	佐藤 航平(森江野)	山口 英人(藤田1)
50m自由形	佐藤 航平(森江野)	久保田裕紀(藤田2)	大槻 泰暉(藤田2)
50m平泳ぎ	東海林 篤(藤田2)	久保田裕紀(藤田2)	鈴木 貴大(藤田2)
25m自由形	山口 英人(藤田1)	大槻 泰暉(藤田2)	野田 力(藤田2)
200mリレー	藤田2	森江野	藤田1
混合200mリレー	第1位 藤田2		

女子			
種目	第1位	第2位	第3位
100m自由形	吾妻 亜樹(藤田1)	渡辺 結(藤田2)	犬伏ほのか(藤田1)
50m自由形	赤坂 育美(藤田1)	吾妻 亜樹(藤田1)	市川 茜(藤田1)
50m平泳ぎ	赤坂 育美(藤田1)	市川 茜(藤田1)	佐藤 麻菜(小坂)
25m自由形	犬伏ほのか(藤田1)	熊坂 理子(藤田2)	渡辺 結(藤田2)
200mリレー	藤田1	藤田2	小坂
	第2位 藤田1	第3位 小坂	





第20回全国生涯学習フェスティバル

# まなびピアふくしま 2008



「全国生涯学習フェスティバル」は、生涯学習に関する情報提供や体験活動などをメインに全国に向けて発信する「参加・体験・交流」型の様々なイベントを行います。平成20年10月に福島県で開催されます。多数の参加をお待ちしています！

- ◆開催期間  
平成20年10月11日(土)～15日(水)
- ◆主な内容  
総合開会式・オープニングセレモニー(会場:福島県文化センター)  
式典のほか本県を紹介する郷土芸能・活動団体等の実演披露  
生涯学習見本市(会場:ビッグバレットふくしま)  
市町村など各種団体による様々な学習情報や実践例などを展示・発表(国見町でも出展！)  
生涯学習体験広場(会場:ビッグバレットふくしま)  
体験教室やステージ発表  
地域開催地事業(9市町)  
地域開催地市町が、地域の特性や伝統文化等をいかした学習成果の発表やシンポジウム、講演会等の各種事業を開催

## 第20回全国生涯学習フェスティバル記念事業 県北域内開催記念事業を開催！

県北地方の素材・人材を生かした様々な学びの見本市で、「民話を未来に」と題した横山幸子さんの講演会や参加体験型講座、各地でサークル活動している団体の発表など盛りだくさん。ぜひ、参加してみてください。

- ◇日時 10月12日(日)・13日(月)  
午前9時30分より
- ◇場所 福島県文化センター
- ◇問い合わせ  
県北教育事務所社会教育課 ☎521-7715

問い合わせ 第20回全国生涯学習フェスティバル実行委員会事務局 ☎(024) 521-7994・7784  
(福島県企画調整部文化スポーツ局生涯学習課内) FAX(024) 521-5677  
E-mail:shougaiyakushuu@pref.fukushima.jp URL:http://www.manabipia2008.gr.fks.ed.jp

# 2008 スポーツと健康の祭典 in くにみ

国見町体育協会主催による、スポーツと健康をテーマに『2008 スポーツと健康の祭典 in くにみ』が開催されます。恵まれた町の体育施設を利用し、各種のイベントが行われますので、お問い合わせのうえ、ご参加ください。元気に楽しく健康な汗を流しましょう！

## 10月13日(月・体育の日) 上野台運動公園

- 8:00 受付開始
- 9:00 開会式
- 9:30～ 各種目開始
- ・野球教室 ・グラウンドゴルフ体験
- ・自彊術、3B、ヨガ、健康体操体験
- ・健康相談・体力測定
- ・フリーマーケット ・大道芸(風船しゅうちゃん)
- ・くにみ豊年大綱引き ・宝ひろい
- 13:00 閉会式

どなたでも参加体験できます。  
奮っておこしください。

### フリーマーケット 参加団体募集！

上野台体育館前で開催するフリーマーケットの参加者を募集します。

- ◇募集区画 20区画
- ◇出店時間 9:30～13:00
- ◇出店料 無料
- ◇応募期限 9月20日(土)
- ◇応募方法 指定の応募用紙に必要事項を記入し提出
- ※詳細は要項を確認のこと。

### くにみ豊年大綱引き 力自慢大集合！

フィナーレを飾る大綱引大会への参加者を募集します。

- ◇一般の部 先着100名
- ◇小学生の部 先着50名
- ◇参加方法 当日受付で募集抽選でチーム編成を行います。
- ◇集合時刻 午前11時30分
- ◇優勝チームに賞品、参加賞があります。
- ※詳細はお問い合わせください。

主催 国見町体育協会  
後援 国見町・国見町教育委員会 ◆問い合わせ 生涯学習課(観月台文化センター内) ☎535-2676

# 福島県消防操法大会に出場します！ 第5分団(大木戸地区)

国見町消防団第5分団は、8月24日に福島県消防学校において開催される第36回福島県消防操法大会に出場します。



松浦幹男団長 八島亨さん 佐藤康史さん 吉田和男さん  
佐藤幸教さん 阿部亨さん 阿部洋一第5分団長

### 小型ポンプ操法出場選手

指揮者	八島 亨
1番員	佐藤 幸教
2番員	佐藤 康史
3番員	阿部 亨
補欠	吉田 和男

福島県内の消防協会支部の代表が集まり、消防操法の安全性、確実性、迅速性を競い合う第36回福島県消防操法大会・小型ポンプ操法の部に、伊達支部代表として「第5分団所属の5名」が出場します。国見町では、14年ぶりの出場となります。出場する第5分団は、この大会に向けて、今年1月から練習を開始し、伊達地方消防組合中央消防署西分署員の指導、協力のもと、毎週土曜日・日曜日に練習を積んできました。

関係者が見守る中、小型ポンプ操法が披露されました。



※小型ポンプ操法とは、軽量の消防ポンプからホースを伸ばし、約60m先の目標物に放水するものです。5人1組で行います。

7月27日、訓練披露会が大木戸ふれあいセンター前で行われ、町長・議長はじめ消防協会関係者、消防団員ら約百名が見守る中、きびきびとした動きで、ホースの延長や放水などを披露しました。  
佐藤力町長や佐藤忠美町議会議長、関根實福島県消防協会伊達支部長らから「体調管理に充分留意され、練習の成果を十分に発揮してください。」と激励のことが述べられました。

## にぎやかに国見まつり

いよいよ夏本番の8月9日、商工会主催の「国見まつり」が観月台文化センター前広場で行われ、大勢の人が繰り出しました。

猛暑の中、魚つかみなどのゲームコーナーや大ビンゴ大会、露店などがにぎわい、夏の祭りを楽しみました。夕方からは子ども盆踊り、若手芸人による漫才、おやじバンドに続き、「よさこい」が行われ、華やかなコスチュームに身を包んだ踊り子たちが迫力ある踊りを披露しました。

今年は、5年ぶりに花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩り、来場者を魅了しました。



## 「ふくしまの桃」を元気にPR

7月8日、町の特産品である桃、ふくしまのくだものをPRする「ミスピーチキャンペーンクルー」の皆さんが来町しました。この日は、10名全員が役場を訪れ、「特産の桃やくだものを全国に元気にPRして参ります。」と抱負を述べました。



7月25日、藤田保育所で、初めての夏まつりが行われました。担当の先生を中心に1ヶ月前から準備を進めてきました。

子どもたちが飾り付けをした2台のおみこしを囲み、「アンパンマン音頭」を踊ったり、緑日コーナーでは、「スーパースポールすくい」「魚つり」「わなげ」を楽しみました。子どもたちは、「楽しい、楽しい。」を連発、この日の所内は、まつり一色でにぎわいました。



## 藤田保育所で、にぎやかに初の夏まつり

# まちのわだい

## 献血の推進にご協力を

7月は「愛の血液助け合い運動月間」。県内の献血者数の減少、将来の献血を担う若年層の献血離れを防ぐなど、私たちの生命維持に欠かせない役割を持つ大切な血液を安定的に確保するため、県知事メッセー지가、保健福祉部薬務課力田主幹から、佐藤町長へ伝達されました。



7月20日、国見町商工会商業部（樋口金雄部会長）7名の皆さんが、早朝から阿津賀山中腹の国指定史跡である阿津賀山防塁の草刈りを行いました。（写真）

また、穂月さん（たつみや肉店）ほか有志の方々には、義経の腰掛松などの草刈りをしていただきました。



毎年、皆さんには、町の史跡の草刈り、清掃作業をボランティアで行っていただいております。

## 史跡をきれいにさせていただきました

## はつらつプレーに歓声

町寿クラブ連合会女性部主催による第15回レディース球技大会が8月5日観月台文化センター体育館で開催されました。13のクラブから80名の皆さんが参加し、「ストライクボール」、「スロットボール」、「輪なげ」の3種目で、熱戦を繰り広げました。会場は、はつらつプレーで熱気に包まれました。



【優勝】阿津賀志寿会  
【準優勝】山崎長寿会  
【3位】山崎東長寿会



7月24日、思春期体験講座（赤ちゃんふれあい体験）が、3・9か月児健診にあわせて観月台文化センターで実施され、中学生6名が参加しました。赤ちゃんの発育・発達について説明を聞いた後、実際に赤ちゃんと遊んだり、抱っこしたりしてふれあい、子育てについて学びました。参加した生徒からは、「プニプニして可愛かった。」「意外と重かった。」「貴重な体験ができてよかった。」などの感想が寄せられました。

## 中学生が子育ての大切さを学ぶ

# くらしの 情報

ふくしま拠点まちづくり協議会では、「福島地方拠点都市地域基本計画」に基づき、「美しさ、ゆとり、創造性」を備えた活力ある地域の実現をソフト面から推進するため、住民、ボランティア団体、NPOなどの非営利民間団体の方々が主体的に行う、地域づくり、まちおこし、環境保全や伝統、文化の継承等の福島地方拠点都市地域を対象とする活動や事業を本年度より支援して行きます。

支援方法は、「ふくしま拠点・まちづくり団体助成金交付要綱」に基づき、これらの事業経費の一部を助成金として交付します。

詳しくは、左記までお問い合わせください。

ふくしま拠点まちづくり団体助成金交付事業募集

## 募集

◆問い合わせ  
福島地方広域行政事務組合 地域振興課  
☎521-8312

▼活動日時  
9月21日(日) 午前6時から(2時間程度)

▼集合場所  
森山上野・桜植樹地

◆問い合わせ  
産業振興課 産業振興係  
☎585-2986

町では桜の名所づくりと町おこしを目的として、森山地区に桜の森づくり事業を進めています。

この事業に賛同し、下刈作業等の桜の育成保護にご協力いただけると、ボランティアの方を広く募集いたします。

ご協力いただける方は、左記までお問い合わせください。

なお、次回の活動は左記日時に予定しています。

国見町に桜の名所を作ろう！  
桜ボランティアの募集

10月1日  
から

## 障害のある方を対象としたNHK放送受信料の免除基準が変わります

### 【全額免除】

●「身体障害者」「知的障害者」「精神障害者」が世帯構成員であり、世帯全員が市町村民税（住民税）非課税の場合に、全額免除となります。

- \*従来の「身体障害者」「重度の知的障害者」から対象を拡大します。
- \*生活状態の条件を「市町村民税非課税」に統一します。

### 【半額免除】

- 視覚・聴覚障害者が世帯主の場合に、半額免除となります。
- \*視覚・聴覚障害者の免除基準の変更はありません。
- 重度の障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者）が世帯主の場合に、半額免除となります。
- \*従来の「重度のし体不自由者」から対象を拡大します。

### 【従来の免除基準と新しい免除基準】

	全額免除 〔障害者の方を世帯構成員に有する場合〕		半額免除 〔障害者の方が世帯主の場合〕	
	平成20年9月30日まで	平成20年10月1日から	平成20年9月30日まで	平成20年10月1日から
身体障害者	生活保護法による最低生活費の額に身体障害者特別加算額を加算した額の費用によって営まれる生活状態以下の世帯	世帯構成員全員が市町村民税非課税	●視覚・聴覚障害者 ●重度のし体不自由者	●視覚・聴覚障害者（変更なし） ●重度の身体障害者（内部機能障害等を追加）
知的障害者	重度の知的障がい者を構成員に有する世帯で、世帯構成員全員が市町村民税非課税	世帯構成員全員が市町村民税非課税（重度以外も対象）	適用外	重度の知的障害者
精神障害者	適用外	世帯構成員全員が市町村民税非課税	適用外	重度の精神障害者

国見町では、受信料免除にかかる事前申請を受け付けておりますので、新しい免除基準に該当される方は、保健福祉課窓口で手続きを行ってください。詳しい基準内容・申請手続き等については、保健福祉課社会福祉係☎585-2793までお問い合わせください。



町では、「口腔の健康」に関心を持ち、早期発見・早期予防につながるよう、口腔健康診査を実施いたします。

健康診査日程	時間	会場
平成20年9月17日(水)	午前9時～11時 午後1時30分～午後3時30分	観月台文化センター 大研修室
平成20年9月18日(木)		
平成20年9月19日(金)		

- 内容 健診車によるデジタルパノラマX線撮影と歯科衛生士による歯科保健指導
- 対象者 国見町在住で30歳以上の方（昭和54年3月31日以前に生まれ※年齢の起算日は平成21年3月31日です。）
- 料金 500円（ただし、国民健康保険加入の方、75歳以上の方、非課税世帯・生活保護世帯の方は無料です。）
- 定員 150名
- 申込み方法 保健福祉課保健係へ 8月29日(金)までにお申込みください。

## \*\*\* 育児教室 \*\*\*

該当児	実施日	受付時間	会場
平成20年3月～4月生まれの乳児	10月2日(木)	午後1時30分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【実施内容】身長・体重測定、赤ちゃんとお母さんの遊び方教室、離乳食試食など  
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに！

## \*\*\* 乳児健診 \*\*\*

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児（平成20年6月生まれ） ・9か月児（平成19年12月生まれ）	10月23日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて  
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに！

## \*\*\* ポリオ集団予防接種 \*\*\*

実施日	対象乳幼児	受付時間	会場
平成20年10月21日(火) ----- 平成20年10月28日(火)	実施日に満3カ月から90月未満までの1回もしくは2回未投与の乳幼児	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

※注意すること…6週間以上の間隔で2回投与します。(2日間の内、どちらか都合の良い日においでください。)  
《持参するもの》ポリオの予防接種予診票を記入し、母子健康手帳と一緒に持ちください。

## 麻しん風しん混合予防接種を受けましょう！！

昨年、全国的に10代及び20代を中心に麻しんが流行したことから、予防接種法施行令の一部が改正され、平成20年度から5年間に限り、第3期（中学1年生に相当する年齢の方）、第4期（高校3年生に相当する年齢の方）として新たに麻しん風しん予防接種が定期予防接種として追加されました。対象者の方には個別にお便りをお送りしましたが、まだ接種していない方は早めに受けられるようお勧めいたします。

※第2期対象者（平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ）で、まだ接種されていない方も早めに受けるようにしましょう。

# 募集

国民健康保険団体連合会職員募集

福島県国民健康保険団体連合会では、平成21年度採用の職員採用試験を次のとおり実施いたします。希望者は期日までに申込みください。

◆採用人数：若干名  
 ▼職務内容：診療報酬審査支払事務及び一般事務  
 ▼受験資格：平成21年3月、大学又は短期大学（修業年限2年以上の専門学校を含む）卒業見込みの者  
 ▼申込み期間：8月20日（水）～9月19日（金）までに必着  
 ▼試験方法：筆記試験、面接試験  
 ▼詳細については、左記までお問い合わせください。

◆問い合わせ  
 福島県国民健康保険団体連合会総務課  
 ☎523-2700

# お知らせ

救急車の適正利用について9月9日は救急の日

伊達地方消防組合の平成19年の救急出場件数は、4021件と、平成17年以降は横ばい状態ですが、それ以前は毎年10%の増加を辿っており、平成19年救急車で搬送された人の約34%は、入院の必要のない軽症の方でした。一方、消防本部では、救急隊数の増加は無く、救急車が現場に到着するまでの時間が、ここ数年遅延に なっています。

このままでは、本当に救急車を必要とする人への対応が遅れ、生命の危険が迫っている方を待たせることになるかもしれません。怪我や病気の症状は軽微ですが「救急車が必要だろうか?」「どこの病院に行けばよいか?」などは、消防署へ一度ご相談ください。

緊急に医療機関へ搬送しなければならぬ場合は、迷わず救急車を要請してください。救急車の利用については、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、消防署では救命講習会を随時開催しておりますので、多くの方の受講をお待ちしております。

◆問い合わせ  
 伊達地方消防組合（中央消防署）  
 ☎575-4101（西分署）  
 ☎582-3190



9月11日は「警察安全相談の日」

警察では、犯罪等の未然防止に関する相談など県民の安全・安心のため相談に応じています。警察で対応できない内容については、専門の機関を紹介いたしますので、お気軽にご相談ください。

◆警察安全相談窓口  
 県民サービスセンター  
 #9110（携帯電話又はプッシュ回線に限りません。）  
 ☎533-9110（ダイヤル回線）  
 桑折警察署  
 ☎582-2151

樹木の枝おろし  
 町の道路敷きに果樹、庭木等の枝がはみ出している所が見受けられます。交通安全上支障となりますので、枝おろしをお願いします。

◆問い合わせ  
 建設課管理係  
 ☎585-2972

下水道技術者資格試験  
 平成20年度下水道排水設備工事責任技術者資格試験及び受験講習会を次のとおり開催します。

▼試験日：11月23日（日）  
 ▼試験会場：日本大学工学部（郡山市）  
 ▼受験講習会：10月17日（金）ビッグパレットふくしま（郡山市）

▼申込み・問い合わせ  
 申込み期間：8月4日（月）～9月12日（金）まで  
 ◆申込み・問い合わせ  
 上下水道課下水道係  
 ☎585-2984

農業に係る  
 免税軽油について  
 平成20年6月30日より、軽油取引税に係る課税免除（免税措置）について、新たに「農作業のうち基幹的な作

業（専ら機械を使用し、行われるものをいう。）のすべての委託を受けて農作業を行う方」も免税軽油の使用対象者として追加されました。

詳しい内容や手続き等に関するお問い合わせは、左記までお問い合わせください。

◆問い合わせ  
 県北地方振興局県税部課税第二課  
 ☎521-7638



下水道まつり  
 下水道に関する知識と関心を深めていただくため、今年も「下水道まつり」が開催されます。当日は、下水道処理施設の見学や楽しいイベントが行われます。入場は無料です。ご家族やお友達とご来場ください。

日時：9月7日（日）雨天決行  
 午前10時から午後3時  
 場所：県北浄化センター（アクアクリンあぶくま）  
 イベント…下水道処理施設見学、下水道クイズラリー、遊具（フワフワ等）、市町出展コーナー、ステージイベント、フリーマーケットなど

## ご寄附ありがとうございました

国見町桜カラオケ愛好会（赤坂正勝会長）より、「第3回桜歌謡祭（7/27開催）」のチャリティー金26,696円を、町の振興のために寄附していただきました。誠にありがとうございました。

## 今月の納税

町県民税（第2期）  
 介護保険料（第2期）  
 後期高齢者医療保険料（第1期）  
 国民健康保険税（第2期）  
 納期限は…  
**9月1日（月）です。**

あなたの気持ち、話してください。  
 心のサインに気づいてください。  
 自殺予防週間 9/10～16日



近年、年間3万人を超える方が自殺で亡くなられています。自殺は個人的な問題だけではなく、背景に様々な要因があるとされています。心に悩みを抱えている場合は、一人で抱え込まずに、親しい人や相談窓口、医療機関等にご相談を。

## 9月の心配ごと相談

11日（木） 秦 カツ子さん  
 蓬田ゆみ子さん  
 25日（木） 松浦 惣一さん  
 佐久間フミさん

・場所 国見町社会福祉協議会  
 ・時間 午前9時～正午

交通事故発生状況 1月～7月

	管内	国見
人身事故件数	35	13
死者	0	0
傷者	40	16



誕生おめでとう  
 お子さん  
 佐藤 孝信（徳江北）  
 菅野みのり（内谷西）  
 佐久間らん（板橋）  
 秋場 莉奈（宮町北）  
 吉田 果凛（山崎沢田）  
 鈴木 佳音（川内）

保護者  
 裕敬  
 宏晴  
 健太  
 克彦  
 昌弘  
 一也

眞弓  
 信子  
 幸子  
 千恵  
 恵美  
 明美

## 人口と世帯

平成20年7月1日現在  
 人口 10,385人（-15）

男 4,960人（-8）  
 女 5,425人（-7）

出生 5人 死亡 11人  
 転入 16人 転出 25人  
 世帯 3,260世帯

おくやみ申し上げます  
 菊地 セツ（第10）  
 大宅誠太郎（町東）  
 蓬田 静子（第9）  
 水越 幸三（大坂）  
 幸悦（第11）  
 菊地 幸悦（第11）  
 井砂 義明（北部）

掲載を希望されない方は、届け出の際にお申し出ください。

7月末日までに、当町窓口で受付した方で、住所を有する方を掲載しました。

《観月台文化センターホール情報》

**古典鑑賞会第13回公演**  
 ~初秋の観月台より千年の雅びお届けします~  
 【源氏物語によせて】  
 日時 9月6日(土)  
 17:30開演 (17:00開場)  
 入場料 全席指定前売3,000円  
 当日3,500円  
 主催 古典鑑賞会  
 後援 国見町・国見町教育委員会  
 問合せ 古典鑑賞会事務局(高橋)  
 ☎585-2287

**NHK公開セミナープレミアムトーク  
 大河ドラマ『篤姫』の魅力**  
 【現在放送中の2008年大河ドラマ『篤姫』の脚本家、田淵久美子さんに篤姫の魅力や舞台裏などをお話いただきます。】  
 日時 9月20日(土)  
 14:00開演 (13:30開場)  
 入場料 無料(入場整理券が必要)  
 観覧申込方法 町内会回覧をご覧ください。  
 問合せ NHK福島放送局☎526-4660  
 生涯学習課☎585-2676

**第47回福島県芸術祭**  
 『繋ぐ 交わる 文化の絆』をメインテーマに県北地区の文化団体による神楽、詩吟、舞踊、太鼓、合唱の発表となります。国見町からは、内容太々神楽保存会が出演します。  
 日時 9月21日(日)  
 13:00開会 (12:00開場)  
 ところ 福島県文化センター  
 入場料 500円(中学生以下無料)  
 問合せ 福島県教育委員会文化課☎525-3785  
 生涯学習課☎585-2676



**夏休み  
 藤田っ子わんぱく広場**  
 7月23日、25日、28日に児童百十一名が参加して、藤田小学校を会場に指導者が見守る中、夏休みの特別

生涯学習  
 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課  
 (観月台文化センター)  
 ☎(585)2676 FAX(585)2707  
 E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp  
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

「くにみの日」公共施設無料開放

9月23日(秋分の日)に、次の公共施設の使用料を減免(無料開放)します。  
**◆対象施設**  
 観月台文化センター…入浴施設・文化センター各施設  
 上野台運動公園…総合運動場・テニスコート・上野台体育館・グリーンアリーナ923・柏葉体育館  
**◆対象者** 国見町に住所を有する方  
**◆利用方法**  
 団体利用は、申込書・報告書の提出はこれまでどおりです。個人利用は、各施設に備えてある利用者名簿に必要事項を記入してご利用ください。

観月台文化センター  
 多目的スペース作品展示

- ◇ 8月11日~8月23日  
 絵手紙教室あすなろ会作品展
- ◇ 8月25日~9月6日  
 くにみパッチワーククラブ作品展
- ・時間 午前9時~午後5時
- ・主催 国見町文化団体連絡協議会

**三学級合同学級  
 町長講話「町政を知る」**  
 8月6日、阿津賀志学級・成人学級・くにみ女性教室の学級生約百名が佐藤力町長より現在の町政について話しを伺いました。町長の4つの公約(①自立の町づくり②藤田病院を核とした健康と福祉の町づくり③人間尊重の町づくり④町長報酬30%カットと黒塗り公用車の廃止)の成果と課題や阿津賀志山整備、道の駅構想、また少子化による新たな



な課題である小学校の統廃合問題などをわかりやすく説明を受け、そして最後に万歳山の話して元気をいただきました。

**グラウンドゴルフ教室**  
 8月4日、6日の2回にわたり、町体協グラウンド



7月3日、10日、17日の3回にわたり、矢部良子先生(県武術太極拳協会)を講師に招いて、太極拳教室が行われました。ゆっくりとした動きの中にも意味があることを理解し、音楽にあわせて太極拳を体験しました。

太極拳教室

スポーツ

**ゴルフ部(小林昭三部長)**  
 の指導のもとゲームを行い、夏休み中の子どもたちは歓声をあげながら大粒の汗を流していました。



**町民登山~雄国山~**  
 山頂展望台からの360度パノラマをお楽しみください。  
 期日 9月28日(日) ※雨天中止  
 対象 国見町在住及び在勤の方  
 定員 25名  
 申込み 9月8日(月) 午前9時~生涯学習課へ(窓口のみ)  
 ※定員になり次第締め切ります。

活動が行なわれました。活動は、子ども達が3つの縦割り班になり、『ピザづくり』『染物』『基地作りと昔遊び』の3つのテーマを三日間で体験しました。ピザづくりは、段ボールにアルミ箔を貼ったピザ釜と炭火で焼いた味に「うまい!」の一言。染物では、白い布をビー玉と輪ゴムで絞り、赤・緑・紺に染めあげ「きれいだね。」と。基地作りと昔遊びでは、段ボールの長いトンネルを歩き来し、コマ回しや割り箸鉄砲で遊ぶ子どもたち。そこには伸びやかな姿がありました。



7月29日~31日の3日間に行われ、教室生19名が南蔵王野営場にてキャンプを行いました。今年、初めて桑折町「キッズスクール」の小学生8名も参加し、交流を深めました。また、ジュ

**ニアボランテア「仲間づくりリーダー」**4名(県北中)も参加し、一緒に活動しました。創作活動は、竹で器とほしを作り、昼に流しそうめんを食べたり、夜の研修は、全員で提灯を持って、真っ暗な森の中を提灯のあかりを頼りにナイトハイキングを楽しみました。2日目の夜のキャンプファイヤーは、雨のため屋内で行い、キャンドル1本1本に火をともしたキャンドルファイヤーを囲み、歌、ダンス、班毎の発表と楽しい一時を過ごすことができました。

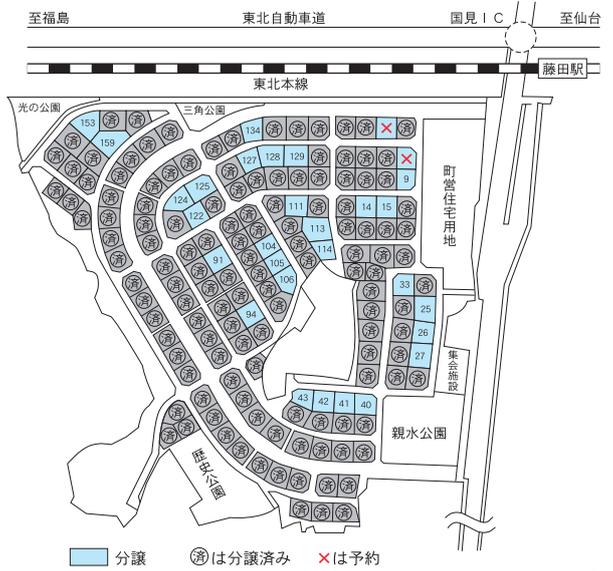
この3日間、自然の中で仲間と寝食をともにし、日常では味わえない貴重な体験として、夏休みの楽しい思い出になりました。最後に両町の子ども達が、お互いに握手をし、また来年も一緒にキャンプに参加することを約束して別れました。



少年仲間づくり教室  
 「キャンプ」

行事のお知らせ

- 《9月》
- 1日(月) 休館日
  - 3日(水) 藤田っ子わんぱく広場(藤田小)
  - 5日(金) 子ども移動図書館(藤田小2年)
  - 6日(土) 少年仲間づくり教室「陶芸①」
  - 7日(日) 伊達地方スポーツ大会
  - 8日(月) 町民陶芸教室③
  - 9日(火) 子ども移動図書館(小坂小)
  - 10日(水) イキイキ子育てクラブ「秋の遠足」(保原町総合公園)
  - 藤田っ子わんぱく広場(藤田小)
  - 子ども移動図書館(森山野小)
  - 阿津賀志学級「教養講座」
  - 子ども移動図書館(大枝小)
  - リトミック教室③
  - 13日(土) 三県交流少年柔道大会(柏葉体育館)
  - 14日(日) 子ども移動図書館(藤田小3年)
  - 16日(火) くにみ女性教室「健康体操」
  - 17日(水) 藤田っ子わんぱく広場(藤田小)
  - イキイキ子育てクラブ「身近な応急手当」(藤田保育所)
  - 18日(木) 子ども移動図書館(藤田小1年)
  - 19日(金) NHK公開セミナー
  - 20日(土) 福島県芸術祭(県文化センター)
  - 21日(日) 家庭の日
  - 22日(月) 町民陶芸教室④
  - 子ども移動図書館(大木戸小)
  - 23日(火) 第13回義経まつり
  - 「くにみの日」施設無料開放
  - くにみ女性教室「講話」
  - 24日(水) イキイキ子育てクラブ(藤田保育所)
  - 25日(木) ブックスタート
  - 26日(金) 成人学級「文化めぐる」
  - 27日(土) 少年仲間づくり教室「陶芸②」
  - 市町村対抗軟式野球大会(県あづま球場)
  - 28日(日) 町民登山(日山)
  - 29日(月) 町民陶芸教室⑤



### 3拍子揃った自慢の宅地!!

- 低価格!!**
- 交通の利便性とすぐれた立地条件!!**
- 上下水道完備!!**
- 分譲斡旋報奨支給**  
分譲斡旋を頂いた方へ  
1区画あたり50万円の報奨金が支給されます
- Uターン新築等奨励金**  
新築家屋と土地の固定資産税相当分を交付(1年分)

よりお求めやすく国見町が強力バックアップ!

支払い条件 契約時10%、残高は3年以内の分納可 ※建築業者の指定や建築期限等はありません

- 5年間の利子補給制度**  
1千万円を限度に、2%について5年間補給します。
- 4区画限定最大20%OFF**  
※条件あり
- 遠距離からの現地見学者交通費助成制度**  
※首都圏等の条件あり。詳しくはお問い合わせ下さい。

## 28区画分譲中

### 国見町企画情報課

kikaku@town.kunimi.fukushima.jp

☎585-2927

平成11年度に162区画の分譲開始以来、毎年着実に販売を進め、既に134区画を分譲、残り28区画となりました。厳しい経済状況のもと、緩やかながら着実なる前進が図られています。国見ニュータウンの恵まれた環境と安心によるものと考えられます。既に98世帯を超える方々が移住されており、半数以上が国見に移り住まれた方で、定住化構想も前進しております。「国見町が国土交通省の補助のもと、しっかりと造ったものだから、安心さらに格安」このことを大切に、既に入居されている方をはじめ多くの皆様に信頼・支援されるよう努めてまいります。

## 着実なる前進 安心確実の分譲地



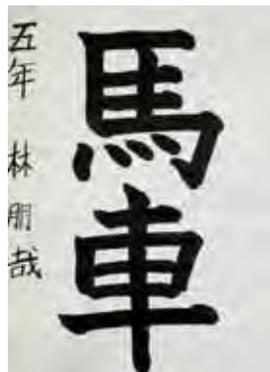
# 国見ニュータウン

小坂小学校

小坂なまこたち



6年 佐藤 麻菜



5年 林 朋哉



3年 高橋 柚梨



この印刷物は「大塚インキ」を使用しております。

編集発行

国見町

〒969-1179

福島県伊達郡国見町大字

藤田字一丁田二2の1

TEL 024-585-1211

FAX 024-585-1218

E-mail kikaku@town.kunimi.fukushima.jp

URL www.town.kunimi.fukushima.jp